



小笠原での流行状況

第17週（4月22日から 4月28日まで）

父島 特別な感染症の報告はありませんでした。

母島 特別な感染症の報告はありませんでした。

※ 5例以上発生時に実数報告としています

東京都全体での流行状況

【主な感染症】

第16週（令和6年4月15日～4月21日）

インフルエンザ	(減少)
COVID-19	(増加)
咽頭結膜熱	(→)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	(増加)
感染性胃腸炎	(増加)
水痘	(減少)
手足口病	(増加)
伝染性紅斑	(増加)
突発性発しん	(→)
ヘルパンギーナ	(→)
百日咳	(→)
風しん	—
流行性耳下腺炎	(→)
RSウイルス	(増加)
流行性角結膜炎	(増加)
無菌性髄膜炎	—
マイコプラズマ肺炎	(→)
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	—

※ 赤字の感染症は警報または注意報レベルは報告なし、(→)は大きな変動がないことを表します。

感染症メモ

- インフルエンザの定点当たり報告数は、1.21で前週より減少しています。
- RSウイルス感染症の定点当たり報告数は、2.05で増加傾向です。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、3.54で増加傾向です。



どんな病気？

潜伏期間は2～3週間と長く、発熱やだるさ、頭痛、痰を伴わない咳などの症状がみられます。咳は熱が下がった後も3～4週間ほど続くのが特徴です。

治療は抗菌薬を使用します。多くの人は感染しても気管支炎ですみますが、一部の人は肺炎となり、重症化することもあります。重症化すると、入院して専門的な治療が必要となります。

予防するには？

かぜやインフルエンザと同じく、患者の咳から感染するので、咳の症状がある場合には、マスクを着用するなど咳エチケットを守りましょう。

現在マイコプラズマ肺炎に対する予防ワクチンはなく、免疫力向上が基本です。日常的に良好な衛生習慣を身につけ、免疫力を高めることで、病原体感染を予防しましょう。



長引く咳などの症状があるときは、医療機関で診察を受けるようにしましょう。

マイコプラズマ肺炎に

ご注意を